

町村自治の充実発展に大きな役割を担ってきたことに 敬意を表する

内閣官房副長官(内閣総理大臣代理) 磯崎 仁彦

本日ここに、全国町村会創立100周年記念式典が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。全国の町村関係者の皆様には日々さまざまな課題に直面しながらも、行政の最前線で住民のために日夜ご尽力をいただいております。全国町村会におかれましては大正10年の創立以来、各町村の連携の要として町村自治の充実発展に大きな役割を果たして来られました。これもひとえに住民福祉の向上と会の発展のために心血を注いで来られた皆様をはじめとする多くの方々の真摯な努力の積み重ねの成果であり、ここに深甚なる敬意を表する次第であります。

さて最優先の新型コロナ対応については、先般最悪の事態も想定した取組の全体像を決定いたしました。現在新型コロナで影響を受けた皆様への対応を含む大規模な経済対策のとりまとめに向けて議論をしております。新型コロナ対応を行った上で岸田内閣の最優先課題として私が目指すのは、成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現です。特に地方は高齢化や過疎化などの社会課題に直面し、新たな技術を活用するニーズがあり、成長の可能性が多いと考えております。地方から成長を実現するデジタル田園都市国家構想の実現に向け取り組んでまいります。新型コロナ対応をしっかりと行い、経済対策を速やかに実行し、そのうえで新しい資本主義を実現していくためには、町村長の皆様と一緒に取り組んでいくことが重要です。皆様のご意見をお伺いしながら政策の実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、各町村が住民の厚い信頼のもと地域における総合的な行政主体として、その重要な役割を果たしていくことを心からお願い申し上げるとともに、全国町村会の益々のご発展と本日お集まりの皆様のご健勝を祈念申し上げまして私の挨拶といたします。

令和3年11月17日内閣総理大臣岸田文雄（代読）